

いのち 「生命のがん教育」のご案内

～令和6年度実施校を募集します～
(実施校は累計約760校です！)



「副読本」

大切な方と一緒に
ご覧下さい。

医師等が易しく丁寧に解説し、
経験者が生命の大切さを語り、
ともに考えます。

京都府独自の副読本を受講者全
員にお渡ししています。

いま、なぜ「がん教育」なのでしょう

日本人の2人に1人が一生のうちのがんになるといわれており、死亡原因の第1位もがんです。がんは私たちにとって大変身近な病気です。

しかし、多くのがんは、生活習慣を改善することで予防できます。近年はウイルスや細菌の感染が原因とされるがんがあることも分かり、適切な予防と治療でがんの罹患を防ぐことができます。

また、医療の進歩により、がんになっても、早くみつけて適切な治療をすることで、普段の生活に戻れるようにもなりました。

がんのことを正しく学び、自分に何ができるかを考えて、がんという病気と向き合うことが大切です。

京都府健康福祉部健康対策課

いのち 「生命のがん教育」の主な内容

教育における視点（小児がんは取り扱いません。）

- がんに関する正しい知識の定着・普及
- 児童生徒を中心に家族で取り組むがん予防の実現
- 健康的な生活習慣の習得
- 早期発見・早期治療の重要性の認識
- 周囲の支えなどの必要性の認識
- 自他の健康と命の大切さの理解

教育のねらい

がんの発生メカニズムを学習する事によって、がんは誰でもなる可能性があることを理解し、正しく向き合う意志を育む。

がんは、たばこやお酒、食事や運動など日常の生活習慣と関わりが深いことを知り、家族と共にがん予防に努める態度を育む。

がんは100%予防することは不可能であることから、症状が出る前に発見し治療する「がん検診」の意義を理解し、実行力を育む。

がん経験者の体験談から自他の健康と命の大切さに気づき、共に生きる社会づくりを目指す態度を育む。

教育の効果

- 医師が白衣を着用し、分かりやすいスライドを用いて専門用語を使わず易しく丁寧に講義をするので理解しやすいと評価されている。
- たばこが何にもまして発がん率を高めることを理解することにより、禁煙の重要性と受動喫煙の危険性に対する認識が深まると評価されている。
- がん経験者の具体的な体験談により、家族や友人等の大切な人たちの存在を再認識し、感謝や思いやりの気持ちを高めることが出来ると評価されている。
- 保護者が参観した学校では、学習内容が家庭でも話題となり、家族で内容を深めることができたという評価されている。

授業の流れと主な内容（例：50分授業）

※授業時間の長短や保護者参観としての実施など、調整は可能です。

担当者	時間	主な内容
授業担当者	短時間	動機づけと紹介
医療従事者の講義 	25分程度 	【がんについての講義】 ◎がんに関する基礎知識 <ul style="list-style-type: none"> ・がんのできるメカニズム ・がんは死亡原因の第1位 ・遺伝や感染 ◎がんの予防について <ul style="list-style-type: none"> ・がんになりにくい生活習慣 ・喫煙・受動喫煙とがんの関係 ◎がん検診について <ul style="list-style-type: none"> ・早期発見、早期治療の重要性
授業担当者	短時間	つなぎ
がん経験者の体験談	20分程度	【がん闘病の体験談】 ◎がんの発病(発見)について ◎治療について ◎周囲とのかかわり ◎伝えたいメッセージ
授業担当者	短時間	質疑応答（質問はこの機会のみ）

※校種に応じたスライドを使用し、各校の事情に配慮した講義内容の相談が可能

○がん経験者の闘病体験談（授業中での紹介例）

私は15年程前から乳房に異変があり、その経過観察の為に毎年、エコー検査とマンモグラフィー検査を受けていました。そこで気になる所見が見つかり、更に詳しい検査をすると、左乳房にがんがあることが分かりました。

しばらくの間、乳房温存か全摘か悩んだ末に、左乳房全摘手術を受ける事に決めました。術後しばらくは痛みで左腕をうまく動かせませんでした。毎日コツコツとリハビリを継続することにより、少しずつ元の動きが出来る様になりました。

入院中はたくさんの方がお見舞いに来てくれ、私を励まし、元気づけてくれました。又、退院後もLINEや電話で、1人暮らしの私をいつも気に掛けてくれました。

今現在も服薬と注射の治療を続けています。副作用もでてきましたが、工夫をして上手に付き合いながら、毎日を過ごしています。

がんと告知されてから治療方針が決まるまでの間、日々前向きに、楽しい気持ちで過ごそうと思っても、恐怖心は常に私についてまわりました。その中でどうしようもなくなった時に、私を励まし、元気づけ、手を差し伸べ、助けてくれたのが、私の人生に関わってくれている全ての人達です。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。がんになってもひとりぼっちではありません。これらのことを皆さんにお伝えしていきたいと思っています。



○授業実施後の児童・生徒の感想

【小学校】

- ・がんに身近な人や大切な人がもしかかったら、一つでも心の支えになればいいと思いました。大人になったらがん検診に行きたいと思いました。

【中学校】

- ・がんについて今まであまり関わる事がなかったけど、これからはもっと理解を深めて、がんを予防したり、がん患者さんをサポートしたりしたいと思いました。

【高等学校】

- ・実際に体験談を聞いて、教科書を読むだけではわからなかったがんになった気持ちや、がんになった人へのサポートの方法を知ることができました。もし友達や家族ががんになったらできるだけサポートし、早期発見・早期治療に取り組めるよう、定期的に検査を受けようと思いました。

【支援学校】

- ・今回お話を聞いてがんにもいろいろな種類があること、予防のために規則正しい生活を送ることで、がんになりにくくなったり、リスクが小さくなることがよく分かりました。改めてがんはとても怖く、誰もがなる可能性があるんだと思い、家庭にがん検診を勧めようと思います。

○授業実施後の教職員の感想

【小学校】

- ・子供たちががんについて正しく理解し、自分たちができることは何か真剣に考えることができました。2人に1人ががんになる可能性があること、がんを予防する方法があること、早く発見することで治療することができるなど多くのことを知り、がん検診の大切さを伝えたいと感じた子供も多くいました。

【中学校】

- ・がんについて基本的な知識から予防のための心得を教えていただき、今までがんについて考えることが少なかった生徒も、自分のこととして話を聞くことができた貴重な時間だったと思います。

【高等学校】

- ・経験者の方の話を通して、「家族と今回の話をしたい」、「家族に検診を受けてほしい」など家族の健康を気遣う感想が多く、生徒にとって健康について考える大変有意義な時間となりました。

【支援学校】

- ・生徒たちは興味深く聞いていました。病気の堅い話だけでなく、雑学もまじえながら話していただけたので、分かりやすかったです。経験者の話も熱心に聞いており、質問時には自分の家族の経験も踏まえて経験者への質問、病気の種類に関する質問にも丁寧に答えていただけ、納得した様子でした。

生命のがん教育実施校募集！

授業の実施を希望される学校は、下記までお問い合わせください。

問い合わせ先：京都府健康対策課 075-414-4973

より詳しい情報は[京都府のホームページ（生命のがん教育）](#)をご覧ください。